

第 3453 回例会 (令和 7 年 3 月 26 日・水)

今週のプログラム

3月26日(水) ゲストスピーチ  
「オールしまねによる次世代人材育成プログラム」  
しまね未来共創チャレンジのご紹介!  
一般財団法人 地域・教育魅力化プラットフォーム  
しまね事業部 もりやまゆうすけ 森山裕介氏

次週のプログラム

4月2日(水) 会員スピーチ  
「奇跡(善き思いがもたらしたものの)」  
日本航空(株)西日本支社 山陰支店長 いとうひろき 伊藤宏樹氏

●例会変更のお知らせ

月 日	クラブ名	受付場所
3月31日(月)	米子南	ANAクラウンプラザホテル米子1F
4月1日(火)	松江しんじ湖	ホテル一畑
4月14日(月)	松江南	松江エクセルホテル東急
4月15日(火)	松江しんじ湖	ホテル一畑
4月17日(木)	松江東	ホテル一畑
4月28日(月)	松江南	松江エクセルホテル東急

2025年3月～4月の予定

3月26日(水) バイキング形式  
3月30日(日) 第3・第4・第5グループ合同 I M  
13:30～17:50  
ホスト: 平田RC  
会議会場: 平田文化館プラタナスホール  
懇親会場: ホテルほり江  
4月2日(水) 定例理事会  
4月13日(日) 2025-26年度地区協議会  
10:30～17:00 (受付10:00)  
会場: 米子市文化ホール  
4月19日(土) 米山奨学生オリエンテーション  
12:00～15:30  
会場: ANAクラウンプラザホテル岡山

第3452回例会記録

令和 7 年 3 月 12 日 (水・晴れ)

	会員数 (人)	出席者数 (人)	欠席者数 (人)	出席率 (%) (出席免除会員含む)	前々回補正 (%) (出席免除会員含む)
松江クラブ	58	40 (リアル <sup>39</sup> オンライン <sup>1</sup> )	18	75.47	87.50

メーキャップ: 今井、角戸 (松江南)、錦織 (松江東)、舟越 (松江しんじ湖)、森岡 (理事会)

会務報告

堀江会長

- 本日は会員スピーチ  
日本銀行 松江支店長 大関雄資会員
- 衛星クラブから1名出席
- 木原親司会員退会挨拶
- 長野真久会員退会のお知らせ  
退会挨拶文代読
- 後藤 ことし 勇次期会長より、3月8日(土)～9日(日)開催  
されたPETS報告

目次真司幹事

- 本日例会終了後、歴代会長会を開催致します。  
会場は、1F ラマージュです。
- 次週3月19日(水)は休会です。
- 次回3月26日(水)はバイキング形式の食事です。  
で、食事は11時30分から12時25分までに済ませ  
てください。

委員会報告

- 親睦・出席委員会 佐藤尚士会員  
出席報告
- 公共イメージ委員会 津久井宏副委員長  
ロータリーの友3月号の紹介

プログラム

「中央銀行のコミュニケーション」  
日本銀行 松江支店長 おおぜきゆうすけ 大関雄資氏



## ニコニコ箱

14,000 円

木原（4/1付けで広島へ転勤になりました。2021年4月入会から4年間本当にお世話になりました。クラブの一員として過ごした時間は大変貴重なものでした。松江RCの益々のご発展を祈念申し上げます。）

茨木（木原会員大変お世話になりました。今後ますますのご活躍をお祈り申し上げます。）

堀江、谷口正、景山、後藤、信太、中村、目次（大関会

員のスピーチを楽しみにしています。）

木村（①大関会員のスピーチ楽しみです。②先日、李白さんでの会、大変お世話になりました。）

小林（トランプのディールに負けないようがんばってください。）

長岡（結婚月）

ベストメッセージ賞：該当なし

司会 茨木直人会場監督



今月のテーマは「食」です



いま い なお き 樹

美味しいものを食べることが好きである。

松江の食文化については「松江食べ物語」の荒木英之さんなど大家もいらっしゃるの、私ごときが書くことはない。私はもっと身近なところから書いてみる。

子供の頃は週末に母親が出前を頼む「西洋軒」のランチやカレー、かつライスなどが楽しかった。また京店の創美堂の前にあった「森永」のレストランで誕生日などに食べた洋食や松江ではまだ珍しかったアイスクリームは特別なお馳走だった。

時は流れ昭和30年代後半、南殿町の角にあった「三喜」のスパゲッティミートソース、同じく南殿町の交差点のビル最上階にあった「白楽天」のチャーハンの味も忘れられない。

実はこれを書いている2月は膝関節の手術で入院しており、病院食の毎日である。病院食は華やかではないが、限られた予算でバランスも工夫しており、毎日残さずありがたくいただいている。この原稿が掲載される頃には退院しているかもしれないが、まだリハビリの毎日で例会リアル出席は4月になると思われる。

病院食に文句はないが、娑婆にいたときに昼食などで食べていた品々、前述の「西洋軒」のオムライス、「魚一」の蕎麦と天丼のセット、「ふじな亭」のひつまぶし、「ピエトロ」のクリームパスタ、「かつふじ」のロースかつ、回転ずし「北海道」の春だけの菜の花のにぎり、米子だが「天心」の野菜ラーメンなどを思い出し、早く退院したいと思う日々である。

また出張の多い私は上京したら食べたいものも頭に浮かぶ。麻布十番の「富麗華」の北京ダック

とメのチャーハン、六本木の「ラトリエロブション」のウニのクリームパスタ、恵比寿の「ジョエルロブション」の宝石のようなフレンチもさることながらワゴンで持ってくる食べ放題のパンとデザートは嬉しい。それから以前トランプさんも行った「うかい亭銀座」のステーキの後のガーリックライス、人形町の「玉ひで」の親子丼、松坂牛で有名な赤坂「東洋軒」のアジフライなどなど。

京都に飛ぶと「高台寺和久傳」のメの玉子かけご飯、これは「室町和久傳」でもいただける。昼と夜で肉の質の違う「三嶋亭」の夜のすき焼き、「一子相伝なかむら」のぐじの酒焼き、「ホテルオークラ京都」の元日の白みそ雑煮、「瓢亭」の朝がゆと瓢亭玉子。銀閣寺近くの「草喰なかひがし」のメの釜炊きご飯そしておまけのおこげ、大徳寺の近くにもある「中華のサカイ」の冬でもやっている冷麺、それから祇園のクラブやバーに出前してくれる「喫茶サン」の玉子サンドも何度も食べたくなる味である。

蛇足だが、東京や神戸だけでなく京都もおいしいパン屋がたくさんある。私が時々行くのは「下賀茂神社近くの「ナカガワ小麦店」、京都駅八条口の「志津屋」、烏丸通りと御池通りの交差点近くの「ル・ブチメック御池店」、大人気の黄檗の「たま木亭」などである。ついでに、今出川通りにある「マリーフランス」のアンパンは巨大なアンパンに薄皮がついているだけのすごいものである。話のタネにはなる。

「あれも食いたいこれも食いたい」は漫画家東海林さだおさんのコラムだったが、入院中の今まさにそんな心境。芭蕉ではないが、ベッドにいて夢は枯野をかけ巡る、である。（書籍卸売）